
母の日プレゼント作り教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 毎日お世話になっているお母さんに感謝の気持ちを込めて樹脂粘土でバラの花のブローチを作り、カードも添えてプレゼントする。
- 期 間 平成27年5月9日(土)
- 時 間 午前9時30分～正午 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生・20名
- 参加者 20人
- 参加費 350円(材料費)
- 講師 クラフト作家 野中 こそえ
- 事業内容 母の日のプレゼントに樹脂粘土でバラの花のブローチを作る。
- まとめ

当初は応募者が少なく、心配していたが20名の申込みがあり、全員参加でほっとした。樹脂粘土は初めての企画だったが、乾燥だけ気をつければいつでも柔らかいため、薄く伸ばすことができ、バラのような花も作成が可能である。五色の粘土を混ぜてオリジナルの色のバラができた。色がとても鮮やかで華やかなすてきなバラの花のブローチが完成した。最後にメッセージカードを書いてお開きとした。



父の日プレゼント作り教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 毎日がんばって働いているお父さんに感謝する。
- 期 間 平成27年6月20日(土)
- 時 間 午後1時から3時30分 (計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生・20人
- 参加者 19人
- 講師 パン教室講師 坂井 外代子
- 事業内容 父の日に手作りのお父さんの似顔絵パンをプレゼントする
- まとめ

受付日にはあっという間に満員に達し、パン作りの人気の高さがうかがえた。お父さんの似顔絵パンはお父さんにプレゼントしてしまうので、先生の配慮で、本人も食べたいであろうと考え、動物パンも2個作った。似顔絵パンは皆、とても楽しそうに、お父さんの顔を思い浮かべながら作成。粘土のようで大変楽しそうだった。動物パンはそれぞれが自分の好きなパンダやひよこ、亀などを思い思いに作った。準備はとても大変だったが、やけどなどの怪我もなく、全員無事でなによりだった。そして、参加者の男の子からは「こんなにパン作りが楽しいと思わなかった。先生、ありがとう！」という言葉があり、先生も大変喜んでくださった。ただ一つ残念なのは、当日の無断欠席者が1名おり、キャンセル待ちでお待ちの方も大勢いたのに、電話もなく無断欠席というのは、保護者のモラルの問題と思うが、なんとも残念である。パンを冷ましている間にメッセージカードを作成。手作りの似顔絵パンをプレゼントされたお父さんの笑顔が目浮かぶ講座だった。



サマースクール 1

～手品にチャレンジ～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 夏休みを利用して普段できないことを体験する。
- 期 間 平成27年8月28日(金)・29日(土) (計2回)
- 時 間 午前10時～正午(計4時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生・20人
- 参加者 13人
- 参加費 材料代 100円
- 講師 パペットマジックのみなさま



○ま と め

他館と日程がかぶったためか応募者が少なくて心配したが、練習の様子をみると手取、足取りと丁寧な指導を受けることができたので、かえって良かったかもしれないと感じた。

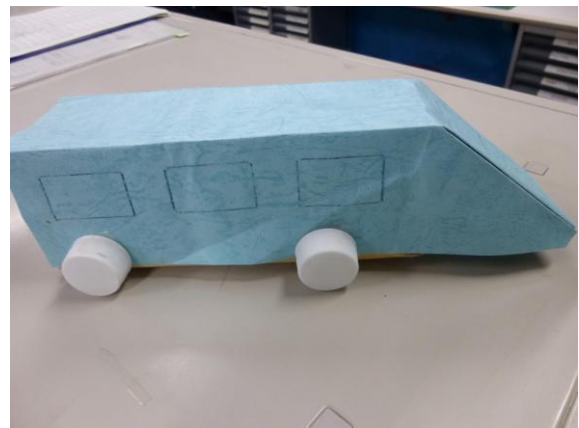
①動く割箸②玉がコップを通り抜ける③のびるハンカチ（ハンカチがどんどのびていきます）④コインはどこに？（ハンカチに包んだコインが消えてまた戻る）⑤瞬間！ロープの入れ替わり 発表会当日は自分の好きな手品を選び、ご家族の前で披露した。アンケート結果をみても全員が楽しかったと答えてくれた。頭の体操にもなり、高齢者向けの事業に計画しても良いなと感じた。

サマースクール 2

～牛乳パックで動く車を作る～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 夏休みを利用して普段できないことを体験する。
- 期 間 平成27年8月26日(水)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住の小学生・15人
- 参加者 15人
- 参加費 材料代 50円
- 講師 NPO日本グッド・トイ委員会認定おもちゃインストラクター五月女精一
〃 渡辺美紀
- 事業内容 牛乳パックやペットボトルの蓋を利用して、輪ゴムで動く車を作ります



○まとめ

牛乳パックを利用して動く車を作ることだったが、牛乳パックの長さを利用して新幹線を作成した。鉄道ファンの子どもたちに人気のドクターイエローやはやぶさなど好きなものを作った。ペットボトルの蓋を車輪にしてゴムの力で自力で動く様子に子どもたちは大喜びであった。色紙を新幹線の形に作り、牛乳パックの上にかぶせると立派な新幹線が完成した。

自分の力だけで完成させた充実感と再利用(エコ)の大切さやゴムの性質などのいろいろ学んでくれたと思う。

のびのびのびっ子絵本のお部屋

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 地域の小中学生に絵本の読み聞かせをする
- 期 間 平成27年7月17日～平成28年3月18日までの
毎月金曜日（計9回）
- 時 間 午後4時～4時30分（計4.5時間）
- 対象・定員 乳幼児から小学生（保護者同伴可）
- 参加者 122人
- ま と め

この講座は当館のロビーにたくさんの小学生が集まり、各々が好きに小型ゲーム機でゲームをしている様子を見て、彼らに何とか絵本、読書の楽しさをわかしてもらいたいという一心で読み聞かせの講座を企画、受講された方がその趣旨に賛同してくださり、月に一度の活動から始まったものである。講座から立ち上がったサークル「のびっこおはなし隊」の皆さんは月に一度、講師を招いて積極的に勉強されている。28年度からは毎週火曜日に開催することとなり、『地域の子どもには地域のおじちやま、おばちやまがちょっとの手助け』をモットーに今後も活動을続けていってほしいと想う。27年度は講座開催が金曜だったため、読み聞かせもそのまま金曜に開催したが、学校が6時間授業だったり、習い事に金曜に行く子も多く集客がいまいちだったため、28年度は火曜に開催することとした。

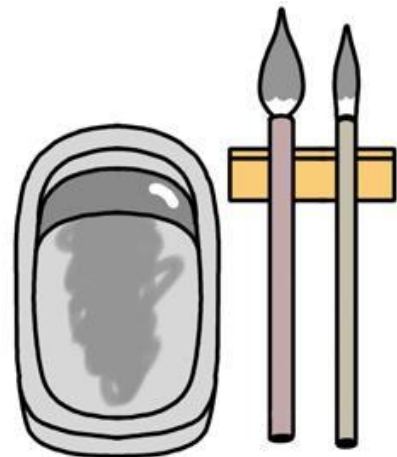


小中学生書き初め練習教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 小中学校の休みを利用して、書き初めの練習をする。
- 期 間 平成27年12月25日（金）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住の小学3年から中学生まで・20人
- 参加者 24人
- 持ち物 書き初め用筆（大筆・小筆）、墨汁、硯、下敷き、新聞紙（1日分）
雑巾、書き初め用紙
- 講師 公民館サークル講師 田尻蓉子 他3名
- 事業内容 書き初め練習をする。
- まとめ

毎年のことだが、申込み当日すぐに満員となり、相変わらずの人気講座である。定員は20名だったが、館長判断によりキャンセル待ちの4名も繰り上げし24名受講とした。とても喜んでいただいたのは良いのだが、肝心の筆などを忘れた方が何人かいて画仙紙も少なく、途中で足りなくなったお子さんもいて、先生からお借りしてどうにか練習できた。子どもの自主性に任せているのかもしれないが、折角の書き初め講座なので準備は万端にしてもらいたい気がする。アシスタントの先生も一生懸命指導してくださり、二時間後にはかなりの上達がみられた。



たんぽぽ学級

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 地域の親子が仲間作りのきっかけとなり、共に子育てを楽しみながら、学ぶことを目的とする。
- 期間 平成27年5月15日～6月19日までの毎週金曜日（計6回）
- 時間 午前10時～正午（計12時間）
- 対象・定員 市内在住在勤の2歳から就園前までの親子・12組24人
- 参加者 11組22人 参加延べ人数 55組110人
- 保育 11人
- 参加費 1,100円（材料費）
- 講師・事業内容

回	月日（曜日）	内 容	講 師
1	5月15日（金）	SGE体験「自他発見」	日本上級教育カウンセラー 酒井 恵
2	5月22日（金）	親子で楽しく体操	サークル講師 玉川 彩世
3	5月29日（金）	子どもの食について	管理栄養士 鳴嶋廣美
4	6月5日（金）	調理実習	〃
5	6月12日（金）	フェルトのおもちゃを手作り	地域ボランティア 田中富美子、中島カナエ
6	6月19日（金）	読み聞かせで共に成長	日本上級教育カウンセラー 酒井恵

○ま と め

第1回目 SGE体験 (Structured Group Encounter) 本音を出し合い、それを互いに認め合う。その体験が自分や他者への気づきを深めさせ、人と共に生きる喜びや、我が道を力強く歩む勇気をもたらすものである。第4回目の調理実習はアンパンマンサンドイッチなどを調理後、一緒に試食した。第5回目のフェルトのおもちゃ作りは思いの外、好評で続編のフェルトおもちゃ作りのリクエストも多くでた。



絵本を読み、そして解く

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 単なる絵本の読み聞かせだけでなく、その文脈の裏側にある意味合いを学習し、また読み聞かせの重要性や朗読を学びます。
- 期間 平成27年6月25日～7月16日まで毎週木曜日 (計4回)
- 時間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人(保育10人)
- 参加者 31人(保育9人) 参加延べ人数107人(21人)
- 講師 日本上級教育カウンセラー・酒井恵
- 事業内容

回	月日	内容
1	6月25日(木)	オリエンテーション、絵本の見方、楽しみ方
2	7月2日(木)	絵本を読み解く『やまなしもぎ』
3	7月9日(木)	受講生による絵本紹介、『幼い子の文学』 瀬田貞二
4	7月16日(木)	絵本を読み解くとは? 「雨ニモマケズ」「なめとこ山の熊」

○ま と め

昨年の「絵本を読み解く」講座の続編ということで企画したが、応募者も多く出席率も良く、市民の意識の高さが覗える。自己紹介も講師独自の方法で受講生それぞれが仲良くなるような方法で導いて下さった。そのせいか非常に和気藹々としたなかで各回の講座が進行していった。『雨ニモマケズ』は昨年やったが、もう少し深く掘り下げて学習した。賢治が35才の時、病に伏している時の作品である。どんな気持ちで書いたのかを考えて読むと読み方も全然違って来る。朗読とは長い時間をかけてじっくりと体得するものである。当館では小学生がたくさん集まるため、その子たちを対象にした読み聞かせ講座をやりたいと以前から考えていたが、館長より許可をいただき、講座としてスタートする運びとなった。昨年の講座終了後、立ち上がったサークル(のびっこおはなし隊)に読み聞かせを依頼することとなり、会員の皆さんも大変協力的に動いてくださっている。この地域活動がいつまでも続くことを祈っている。

手作り布ぞうり教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 家庭で使わなくなった布などを利用して布ぞうりを作る。
- 期 間 平成27年8月5日(水)・6日(木) (計2回)
- 時 間 午前9時30分～正午 (計5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・12人
- 参加者 10人 参加延べ人数20人
- 参加費 100円(材料費)
- 講師 リメイクの会 藤山 百合子
- 事業内容

回	月日(曜日)	内 容	講 師
1	8月5日(水)	手作り布ぞうりを作る。	リメイクの会 藤山百合子
2	8月6日(木)		

○ま と め

ブームは去ったと言われているが、応募者はまだまだ多く、申込みを断わっている状況である。ただ、猛暑の影響からか体調を崩し、欠席の方が2名いらしたのが残念だった。ぞうりを作成後、講師の豊富なアイデアによるリメイク術をご紹介いただいた。参加者は積極的に質問し、全員楽しそうに過ごしていた。受講性の方は「とても楽しかった。」「またぜひお願いします。」と口々に言いながら帰られた。古い布を再利用してぞうりを作成する布ぞうりは素足に履くと気持ちが良いだけでなく、健康にも良く、フローリングの床掃除にもなり、また筆筒の肥やしとなっているものが再利用され、筆筒も片付き、良いことづくめである。来年の講座まで待てない方には1月から立ち上がったサークルをご紹介した。



「働く女性の講座」企画準備会

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 今年度開催予定の「働く女性の講座」について、市民参加により身近で親近感の持てるテーマで学習や体験をする内容の講座を企画する。

○期間 平成27年7月25日～8月8日までの毎週土曜日（計3回）

○時間 午後1時30分～午後3時30分（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・8人

○参加者 5人 参加延べ人数 10人

○事業内容

回	月日（曜日）	内容
1	7月25日（土）	「働く女性の講座」の開催予定日および講師、内容について
2	8月1日（土）	講師候補の進捗状況及び内容について
3	8月8日（土）	講師候補の進捗状況及び内容の調整、講座の全体テーマについて

○まとめ

今年度、企画準備会については土曜日の午後の開催とした。

講座の内容については、海外事情・戦後史・家庭に関すること・ジェンダー・コーラスなど準備委員から活発な意見が出た。特に国境なき医師団のメンバーを講師に迎えたいとの強い要望が出され、国境なき医師団からは150名以上の規模の講演会が条件だったため、公開講座にすることとした。

企画準備会の参加者は1回目は3名、2回目は4名、3回目は3名の参加だった。



働く女性の講座

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 市民参加の企画準備会で企画された講座で、働く女性を取り巻く様々な問題（身近で親近感の持てるテーマ）について学習や体験をすることにより、活力を生む場を提供する。
- 期間 平成27年10月23日～11月13日までの毎週金曜日（計4回）
- 時間 午後7時～午後9時（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の成人・30人
（公開講座は240人）
- 参加者 29人 参加延べ人数 248人（うち公開講座193人）
- 講師・事業内容

回	月日（曜日）	内 容	講 師
1	10月23日（金）	ドラマと映画に見る韓国の男女平等事情	文教大学文学部教授 山下 英愛
2	10月30日（金）	私の戦後70年史	フリージャーナリスト 元毎日新聞記者 関 千枝子
3	11月 6日（金）	国境なき医師団の活動に生きる （公開講座）	国境なき医師団・新座志木中央総合病院 外科医 吉野 美幸
4	11月13日（金）	楽しく歌おう歌声喫茶	元国際基督教大学高等学校音楽教師、イル・カント・デル・クオーレ主宰 前中 榮子

○ま と め

事前受付の応募数は29名であったが、欠席者が多く一回のみの参加者を含めて毎回18名前後の参加があった。

第1回目は内容が豊富で時間が足りなく感じた。第3回目の公開講座は予想を上回る参加人数で、内容も充実していて大変盛況であった。第4回目は場所を講義室からホールへ変更したため参加者が少なく心配したが、気持ちよく歌えたようだった。

手作り和菓子教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 日本四季に合った和菓子を手作りし、二十四節気の意味や和菓子に纏わる謂れなどを学習する。
- 期 間 平成27年10月30(金)
午後1時30分～午後4時(計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 19人
- 参加費 500円(材料費)
- 事業内容 ☆じょうよ饅頭
☆フルーツおこし
☆お抹茶

○ま と め

毎年、恒例となった「手作り和菓子教室」だが、今回はじょうよ饅頭とおこしの2種類を作った。10月25日頃から立冬までの期間を二十四節気の霜降という。秋が一段と深まり、朝霜が見られる頃で朝晩の冷え込みが厳しくなり、日が短くなったことを実感する。初霜の知らせが聞かれるのもこの頃で、山は紅葉で彩られる。この日本の四季を感じながら、出来上がった和菓子をお抹茶と一緒にいただき、受講生の皆さんには喜んでいただいたと思う。じょうよ饅頭は作るのが難しいと聞いていたが、さすが主婦の皆さん、さっさと手際良く作られていた。和菓子を作って食べるだけでなく、二十四節気のことや和菓子の歴史なども解説していただき、勉強になるため、受講生の皆様には大変満足のいく講座だったと思う。



すぐに役立つトラベル英会話

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 見聞を広めるため、また、海外旅行をより一層楽しむために英会話を学習する。
- 期 間 平成27年9月30日～10月28日まで毎週水曜日（計5回）
- 時 間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の成人・20人（保育有）
- 参加者 20人（保育2人） 参加延べ人数 87人（保育6人）
- 講師 ピーター・チャムリー
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	9月30日（水）	機内サービスの受け方、入国審査
2	10月 7日（水）	ホテルの予約の仕方（英国と米国の違い）
3	10月14日（水）	買物の仕方
4	10月21日（水）	レストランでの注文の仕方
5	10月28日（水）	劇場のチケットの取り方（英国と米国の違い）、搭乗手続き

○ま と め

以前、子育て講座でアンケートに保育付きの英会話講座を希望とあったので、今回保育有りにしたが、キャンセル待ちの方を含めて応募者は3組のみであった。欠席もあり、結果として保育サポーターの方にご迷惑をかける形になってしまった。授業の内容は講師が色々工夫してくださり、CA役の人と乗客役になったり、ホテルのフロントマンや店員役などになって、積極的に会話を促していた。海外旅行をされる方には役に立ったと思われる。飛行機の機内サービスの注文から始まり、入国審査、ホテルのチェックイン、レストランの注文の仕方、買物や劇場のチケットの取り方なども学習した。

アンケート結果の進捗や回数をみてもいずれもちょうど良かったという意見で、レベルの差をあまり感じることなく、皆さん楽しく受講できたのではないかとと思われる。



はじめての尺八

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 日本伝統芸能である尺八を一から学ぶ。
- 期 間 平成27年9月12日～10月3日までの毎週土曜日（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤、小学生から成人の方・20人
- 参加者 14人
- 講師 新座尺八同好会
- まとめ

小学生から成人まで幅広い世代に日本の伝統芸能である尺八を広めたく、4回連続講座を開催した。尺八は協会本部より無料で借りることができた。尺八は難しいものという先入観からなかなか応募者が集まらなかったが、何とか14の方が応募してくれた。初めての方と経験ありの方は半々くらいであったが、最終回には「荒城の月」「浜千鳥」「北國の春」「鳩」「海」「砂山」などがふけるようになった。親切にご指導いただいたと受講生の評判上々であった。なお、第3回の出席が少なかったのは運動会があったせいもある。

和服の着付けと睡足軒の秋を楽しむ

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 日本民族衣装である和服を一人で着られるよう学び、紅葉した睡足軒を楽しむ。
- 期間 平成27年11月14日～28日までの毎週土曜日（計3回）
午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住在勤の女性・12名
- 参加者 12名 延べ人数33名
- 講師 富田 ふみ枝
- まとめ

着付け（基本、応用）講座だけでなく、着物のリメイク（古い着物を簡単に帯に仕立て直す）や和服に合う髪型のセット方法などを教えていただき、受講生一同瞬く間に先生のファンとなった。また講師の富田先生は煎茶道のご指導もされており、先生のご指導を引き続き受けたいと、すぐにサークルが立ち上がった。

最終回には着物を着た後に、睡足軒まで移動し子ども茶会に参加し、日本の秋の風情を楽しんだ。



美魔女養成講座パート2

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 いつまでも健康で若々しくいられるために、美声、美姿勢、美肌などを学び、地域の方と楽しみながら仲間作りを楽しむ。
- 期 間 平成28年1月15日～2月12日までの毎週金曜日（計5回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人 参加延べ人数79人
- 事業内容

回	月日	内容	講師
1	1月15日	背中美人をめざす！	サークル講師 玉川 彩世
2	1月22日	美肌になるための栄養学を学ぶ	食生活アドバイザー 鳴嶋 廣美
3	1月29日	ごぼうやおからを使ったガトーショコラを作る	〃
4	2月 5日	美声になるための基礎を学ぶ	ボイストレーナー 瀬戸 彰久
5	2月12日	たるみを防ぎくびれをめざす！	〃

○ま と め

昨年に引き続き、介護予防としての講座である。第1回目の「美姿勢」は背中美人をめざそう！という内容にしたがちょうどNHKの情報番組「あさいち」で特集を組んでいた。背中を鍛えることによるメリットを教えていただきながら、楽しく体操できた。第2回目の「美肌」は先生自ら魔女を意識して全身黒づくめの衣装で、受講生の笑顔を誘っていた。当たり前なことだが肌に良い物は体にも良い。肺の機能が悪くなるとしわが増える。砂糖を取り過ぎるとカルシウムも欠如し骨粗鬆症も心配される。また肌の弾力性が失われて、たるみやシワを進行させるという。油を取り過ぎるとしわが深くなるなど、沢山の新しい情報を教えていただき、目から鱗の講義であった。第3回目は調理実習で身体の良くない砂糖や油を使わずにスイーツを作った。ごぼうやおからを使ってのガトーショコラもまた目から鱗だと喜んでいただいた。第4・5回目の「美声」については単なる発声練習ではなく、表情筋を使うことにより頬のリフトアップ効果と喉の筋肉を使うことにより誤嚥防止にもなり、介護予防につながる。また、腹式呼吸を行うことにより、ウエストまわりのくびれを手に入れることも出来ると皆さん楽しんでおられた。全体を通して講師、内容ともにとてもご満足いただき、皆さんから感謝の言葉をいただき、主催者側としても嬉しい限りである。何に対しても興味を持ち、知的好奇心旺盛でいることが、美魔女で居続けるコツかもしれないと思う。

ビジネスマンのための会話力 UP 講座

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 仕事にも役立ち、自身の表現力を磨くため、ボイストレーニングを一から学ぶ
- 期間 平成27年10月8日～22日までの毎週木曜日（計3回）
- 時間 午後7時～午後8時30分（計4.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 21人 参加延べ人数 52人
- 期間 ボイストレーナー 瀬戸彰久
- 事業内容 ビジネスマンだけでなく社会参加している女性にも役立つ表現力や発声の理論を実践を通して学ぶ

○ま と め

仕事帰りの方も参加しやすいように夜の講座にしたが、やはり若い方の参加は少なかった。参加者は20代2名、30代1名、40代1名、50代5名、60代8名、70代3名、80代1名という内訳で、50、60代の方が圧倒的に多かった。若い人を呼び込むのはなかなか難しいと実感した。しかし、内容は「理論的に説明いただき、筋トレなども行い、出席された方は皆さんよろこんでいただいた。アンケートでは

- ・声の出し方、息（呼吸）の使い方を理解できた。
- ・話し方のポイントを押さえて説明していただき良かった。
- ・何気なく使っている言葉の発音について考えるきっかけが出来た。
- ・中身の濃い講座だった。
- ・日頃、自分で気づかない発声について学べた。
- ・声帯、腹筋などの体の使い方の説明がとてもわかりやすく、良かった。
- ・先生の論理的な説明が納得できた。
- ・声をだすことが楽しくなった。

などのご意見の反面

- ・時間が短かった。
- ・回数が短かった。もっと長くやりたかった。

などのご意見もいただいた。

総合的にみてみなさん満足いただいたようで、夜の講座にしては出席率も良かったと思う。

参加者の方は引き続きボイトレのレッスン受けたいという希望者が多く、昨年の講座の後に立ち上がったサークルへ7～8名の方が入会された。

パソコン教室

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 インターネットを使って素材を取り込み、カレンダーを作る。
 (初級～中級程度)
- 期 間 平成28年2月17日(水)～19日(金)(計3回)
- 時 間 午後2時～4時 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・14人
- 参加者 14人 参加延べ人数41人
- 費用 200円 (CD・用紙代)
- 講師 (有)ルートリンクス インストラクター 松岡真澄
- 事業内容

回	月日	内容
1	2月17日	Wordの基本操作
2	2月18日	インターネットの活用
3	2月19日	カレンダー作品の完成

○ま と め

参加者全員熱心に取り組み、最終日には各自作成したカレンダーを1枚持ち帰っていただいた。

印刷に時間がかかってしまい、もう少し時間があればもう1枚ずつ作れたかもしれないので、残念だった。参加者によって技能の程度に差があるので、申込みの時にどう区分すればよいか難しいと感じた。



和の心楽しみま専科～茶道編～

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 日本のお传统文化である茶道を通して、お軸や陶器、茶花、歴史などを総合芸術として学習する。
- 期 間 平成28年2月6日～27日までの毎週土曜日（計4回）
- 時 間 午後3時～5時（計8時間）
- 対象・定員 小学生から成人まで・12人
- 参加者 12人
- 講師 小糸仙智
- 事業内容

回	月日	内容
1	2月6日	茶道の歴史について、お菓子、お茶のいただき方、茶をたてる
2	2月13日	お床の拝見（お軸、茶花）の仕方、茶筌通し
3	2月20日	帛紗裁き、棗、茶杓の浄め方
4	2月27日	盆点前でお相手の方に茶をたてて差し上げる

○ま と め

小学生から成人までを対象に募集したが、小学生の応募はゼロで成人のみであった。茶をたてるという行為は手順を覚えれば良いという訳でなく、所作の一つ一つに意味があることがわかり、受講生の方は目から鱗だったようである。またお軸の説明は単なる読み方、意味だけでなくそれに関わる歴史的なこともお話いただき、知的好奇心をくすぐることもできたようで、講座修了後もずっと続けたいという希望者が続出し、早速サークルが立ち上がった。凜とした空間で 香りの良いお抹茶をいただくという非日常を楽しむことにより、ストレス社会からも解放され、またがんばろうという気持ちになることを期待したい。



熟年者たちの自由学校

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 趣味、教養、健康などについてたのしく学び、生きがい発見や仲間作りをする
- 期 間 平成27年6月3日～6月24日の毎週水曜日と7月3日（金）
（計5回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分、7月3日のみ午前9時～午後5時（計16時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の50歳以上の方・33人
- 参加者 33人 参加延べ人数153人
- 参加費 3,000円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	6月3日	太極拳にトライしてみよう！	サークル指導者 鈴木 雄二
2	6月10日	純銀のペンダントを作る	アートクレイシル バー指導者小寺恵
3	6月17日	ハーモニカ演奏鑑賞と唱歌を歌う	むさしのハーモニ カクラブ野火止
4	6月24日	歌舞伎を学ぶ	元国立劇場文芸室 長 北潟 喜久
5	7月3日	館外学習（歌舞伎鑑賞教室と憲政記念館）	義経千本櫻 尾上菊之助ほか

○ま と め

毎年人気の講座であるが、今年には特に反応が良かった。今回初めての企画のアートクレイシルバーとは銀粘土を形作り、焼き上がりが純銀のアクセサリーになるもので、受講生は大興奮であった。



また、館外学習を歌舞伎鑑賞としたため、前週に歌舞伎の予習として元国立劇場の文芸室長に講義いただいたので、歌舞伎がよくわかって良かった、歌舞伎は敷居が高いと思っていたがこんなに楽しいと思わなかった、食事とても美味しく満足だ、などのご意見をいただいた。

親子で作るパーティ料理

〈野火止公民館〉

- 開設の趣旨 親子でクリスマスのパーティ料理を楽しみながら作る。
- 期 間 平成27年12月5日（土曜日）
- 時 間 午前10時～午後1時（3時間）
- 対象・定員 市内在住または在勤の方・15組
- 参加者 13人
- まとめ

実施日が他の行事と重なったためか、応募者がいまいちだったが、参加された方は豪華なお料理に大変喜んでくださった。

メニューは

- ①鶏肉のマーマレード焼き
- ②にんじんサラダ（カッテージチーズを雪に見立て上に散らすとクリスマスの雰囲気満載）
- ③簡単コーンスープ
- ④ブッシュ・ド・ノエル（切り株状のケーキの上にキノコが生えているかのごとく、市販の「キノコの山」をデコレーションし、子どもたちも大喜びだった）

出来上がったお料理を前に先生が用意してくださったアップルシャンパンで乾杯し、パーティ気分を大いに満喫できたと思う。



クリスマスコンサート

〈野火止公民館〉

○開設の趣旨 小さなお子さん同伴では本格的なクラシック音楽を聴くのは
(コンサート会場で子連れ不可が多いため)なかなか難しい状況だが、
小さなお子さんも一緒に本格的なクラシック音楽を楽しむ。

○期 間 平成27年12月19日(土)

○時 間 午後1時30分～午後3時(計1.5時間)

○対象・定員 一般の方・220人

○参加者 210人

○出演者 ヴィオラ・カルテット&善養寺彩代(ピアノ)

○事業内容

第1部 ◆クライスラー：愛の喜び

：愛の悲しみ

：美しきロスマリン

◆ピアノ：記憶の回廊

◆シヨスタコーヴィチ：2本のヴィオラの為の5つの小品より

◆ポーエン：幻想四重奏曲

第2部

◆マスカーニ：カヴァレリア・ルスティカーナより間奏曲

◆ヴァインツィール：Nacht Stuck(夜曲)

◆パッヘルベル：カノン

◆ピノキオより”星に願いを”

◆ニューシネマパラダイスより”愛のテーマ”

◆アナと雪の女王より”レットイットゴー”

◆クリスマスメドレー

アンコール曲：牧人羊を

：あわてんぼうのサンタクロース

○ま と め

クラシックコンサートも今年で3回目を迎えた。ヴィオラ四重奏というちょっと珍しい演奏会であったにも係わらず、応募者は260名を超え、多数の方をお断りすることとなったが、当日の無断欠席が66名もあり、次回からは対策を考える必要があると思う。前半はちょっと格調高く、後半は親しみやすい曲を演奏いただき、小さなお子さんからお年寄りまで幅広い年代の方が楽しめるクリスマスコンサートだった。

人権学習

(野火止公民館)

- 開設の趣旨 日常生活における差別や偏見について考え、意識を持っていくことを目的とする。
- 期 間 平成27年10月24日(土曜日)
- 時 間 午後1時30分～午後2時6分 (計36分)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 64人 参加延べ人数64人
- 講師 公民館職員
- 事業内容 利用者懇談会の中で、ビデオ視聴により人権問題について学ぶ。
- まとめ

利用者懇談会の中で、DVD「あなたに伝えたいこと」を視聴した。テーマはインターネット時代における同和問題で、内容は、同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題の解決につながることを描く。インターネットは本来優れたコミュニケーションツールだが、それを、人を傷つけ人権を侵害する凶器に変えてしまうのは、自分の心である。インターネットの持つ危険性に私たちがどのように向き合っていけばよいかを問い直す。



企画のねらい

この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。同和問題の解決を促すため、30年以上にわたって地域貢献活動を行ってきた。その結果、生活困難なグループの増加は認められましたが、経費差別や身元調査など、意識の面で差別は決して解消されたい。また、時代の移り変わりと共に、同和問題についての正しい理解を得る機会が少なくなっています。そんな中、この作品は同和問題を正面から取り上げ、この問題を解決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題の解決につながることを描きます。

また、インターネットには、その発展と共に、匿名性による新たな理解に基づく差別的な書き込みや、自己との適切な距離が保てないネット依存など、懸念が広がります。インターネットは、本来、優れたコミュニケーションツールです。それを、人を傷つけ人権を侵害する凶器に変えてしまふのは、自分の心でついでに後悔を繰り返す。この作品のねらいは、多くの方々の思い、女性です。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母や同和問題でつらい思いをしてきたことを知り、彼女の価値観を中心に、個人や友人、家族などとの関係性を思い出し、ネット上の情報だけでなく、実際に人と対峙する中でお互いに正しく知り合うことが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、若い世代とも伝えます。

企画 画/兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会
 企画協力/兵庫県教育委員会
 制作/東映株式会社

■上映時間 36分 本体価格 80,000円(税別)
 DVD・字幕音声版 (CH8050)